



## 3つの幸せ

校長 谷 越 秀 樹



令和8年となって、早一ヶ月が過ぎようとしています。保護者・地域の皆様方には、本年も、子どもたちの健やかな成長に対するお力添えを、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私は2学期の終業式の際に、子どもたちに「3つの幸せ」についてお話をしました。以下がその内容です。

- 1つめの幸せは、「**人に何かをしてもらう幸せ**」です。  
お家の人においしいお弁当をつくってもらったり、忘れ物を届けてもらったときは嬉しいですね。
- 2つめの幸せは、「**できるようになる幸せ**」です。  
自転車に乗れるようになったり、鉄棒で逆上がりができるようになったときは嬉しいですね。
- 3つめの幸せは、「**自分が人に、何かをしてあげる幸せ**」です。  
人に何かをしてあげたり手伝ってあげたりしたときに、相手の人が喜んでくれたら嬉しいですね。

みなさんはお家の人に、どんなことをしてあげられるでしょうか？  
お皿洗いでしょうか、洗濯物をたたむことでしょうか？ 雪はねのお手伝いでしょうか？  
ぜひ考えてみてください。この冬休みがチャンスです。お家の人のために何かをしてあげたり、お手伝いをしてあげたりして、たくさんの幸せを感じてほしいと思います。

ある日、テレビで、働いている人たちへのインタビューが放送されていました。子どもたちが働いている大人に質問をしていたのですが、「この仕事をしていて嬉しかったことは何ですか？」という問いに、働いている人たちは一様にこう答えていました。  
「それは、お客さんが喜んでる顔を見たときです」  
『お客さんに「ありがとう」って言われたときです』



子どもたちはやがて大人になり、社会に出て働くようになります。子どもたちが将来、どんな仕事をしようかと考える時には、好きなことや興味のあることなど、自分にとってやりがいのある仕事を思い浮かべるでしょう。私はテレビでこの場面を見た時に、どんな仕事も自分のためだけではなく人のために働いているのであり、相手に喜んでもらうことでやりがいや幸せを感じるのだと思いました。

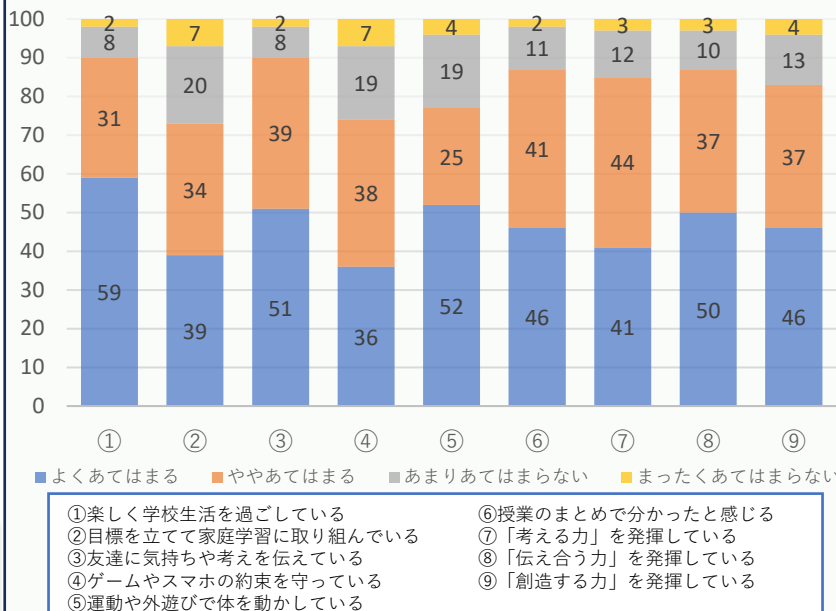
東栄小では働くことの意義や職業観を学ぶ「キャリア教育」を推進しています。今年度も社会見学で働いている方々の現場を見せてもらってお話を聞かせてもらったり、自動車会社や航空会社の方々に来校していただき、仕事の内容や日本の未来について講話をしてもらったりしました。このような経験を重ねることで学習に対する意欲や興味・関心が高まることを願うとともに、子どもたちにはこれからの生活の中で「人に何かをしてあげる幸せ」を感じてほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様にはスキー学習の補助や、1年を通しての朝の街頭指導にご協力をいただき、どうもありがとうございます。今年も東栄小の教職員は、子どもたちの豊かな成長と学びを支えるめに尽力してまいりますので、今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 目指す学校・子どもの姿を求めて

### ～学校評価アンケート結果～

#### 【児童アンケート結果】



#### 【保護者アンケート結果】

